

【阿波市】市場集落

いちばしゅらぐ



400年の伝統「やねこじき」を現代のアートとおもてなしへ 住民の手作りが生む感動と交流、地域をつなぐ新たな祭り

阿讃山脈の南側に位置し、温暖な気候に恵まれた阿波市市場町。この地には、江戸時代から続く伝統行事「やねこじき」が大切に受け継がれている。租税免除に感謝した住民が、家にある身近なもので飾りを作り、藩主を歓迎したのが始まりとされ、「やねこいもでございます（たいしたものではない）」と謙遜して答えた言葉が名前の由来とされる。

社会構造の変化に伴い、この貴重な文化も平成30年には存続の危機を迎えた。しかし、「何かの形で継承しなければならない」という強い思いを持った有志たちが立ち上がり、「やねこじき・de・まちおこしの会」を結成。単なる保存活動にとどまらず、歴史ある無形文化財を通じて町を元気にする活動へと進化させた。

現在開催されている「やねこじき祭り」は、おもてなしの心から生まれた独自の文化を大切にしながら、現代風のアレンジも加えている。住民一人一人が心を込めて作った造形物（アート）の展示に加え、地元中学生も参加する寸劇、賑わいを生むマルシェなど、地域一体となったイベントとして定着している。

また、活動は祭りだけにとどまらない。多様な主体と連携し、学生服のリユース活動や道路の清掃活動（徳島県OURロードアドプト）、子ども食堂への協力など、地域の環境問題や福祉にも積極的に取り組んでいる。行政、学校、図書館、ボランティア団体などと顔の見える関係を築きながら、有形無形の芸術とおもてなしの心で、地域の未来をつないでいる。

やねこじき・de・まちおこしの会

住所 / 徳島県阿波市市場町市場上野段212-2

阿波市立市場図書館 2F（やねこじき資料展）

代表者 / 三浦 眞作 連絡先 / 080 - 1994 - 3159

H P / <https://yanekojiki.web.fc2.com/>



（写真上）地元中学生や住民有志によるステージ。400年の歴史や由来を伝える寸劇などが披露され、多世代の演者による熱演が会場を一体感で包み込む。

（写真下）多くの人で賑わうマルシェ。飲食や雑貨のブースが並び、地域内外の人々が交流する場として、伝統行事に新たな活気をもたらしている。